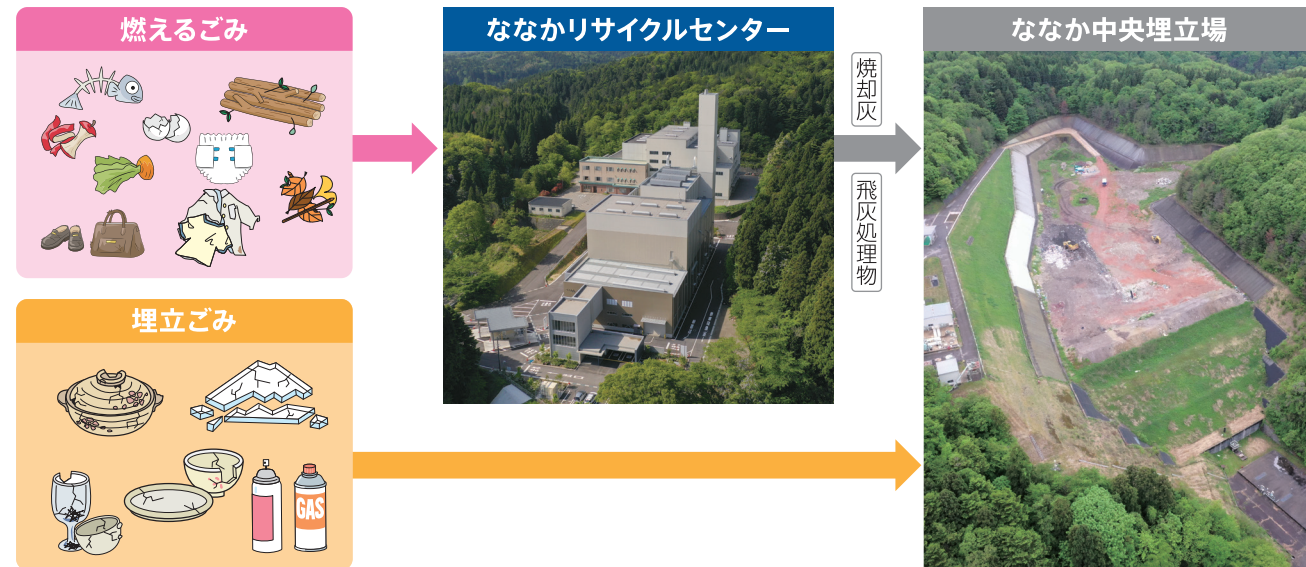


ごみの流れ



ななかりサイクルセンター

N A N A K A R E C Y C L E C E N T E R

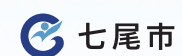
施設案内図



ななかりサイクルセンター

〒929-2116 石川県七尾市吉田町テ部33番地

事業主体



七尾市
〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
Tel. 0767-53-1111 / Fax. 0767-52-0374

設計・施工

荏原・真柄・戸田組
特定建設工事共同企業体

設計・施工監理

株式会社中央設計技術研究所

〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号
Tel. 076-263-6464 / Fax. 076-263-6922

運営

株式会社ななおEサービス

〒929-2116 石川県七尾市吉田町テ部33番地
Tel. 0767-68-3200 / Fax. 0767-68-3732





施設の特徴

安定性・安全性に優れた施設

生活環境の保全、公衆衛生の保持の観点から、地域で排出されるごみを継続的に適正処理できるよう、安定性・安全性に優れた施設です。また、発災時に日常的に排出されるごみの処理に支障をきたさぬよう、耐震化・浸水対策等を考慮し、早期復旧が可能で災害に強い施設です。

周辺環境に調和した環境に優しい施設

ごみの焼却処理に伴う周辺環境への影響がないよう、万全な公害防止対策を講じ、法規制はもとより、独自の自主規制基準を遵守します。また、周辺環境との調和を可能な限り保ち、良好な景観形成に努めます。

循環型社会の形成・地球温暖化の防止に寄与する施設

ごみの焼却処理プロセスにおけるエネルギーの消費、温室効果ガスの排出を可能な限り低減できる設備構成等とするとともに、ごみの焼却に伴い発生する熱エネルギーを回収・有効活用することでエネルギー消費量を削減し、温室効果ガスの排出抑制に寄与します。

経済性に優れた施設

経済性とのバランスも考慮して、新ごみ処理施設の設計・建設から運営管理に至るまでの公的財政負担(Life Cycle Cost)の低減を図ります。

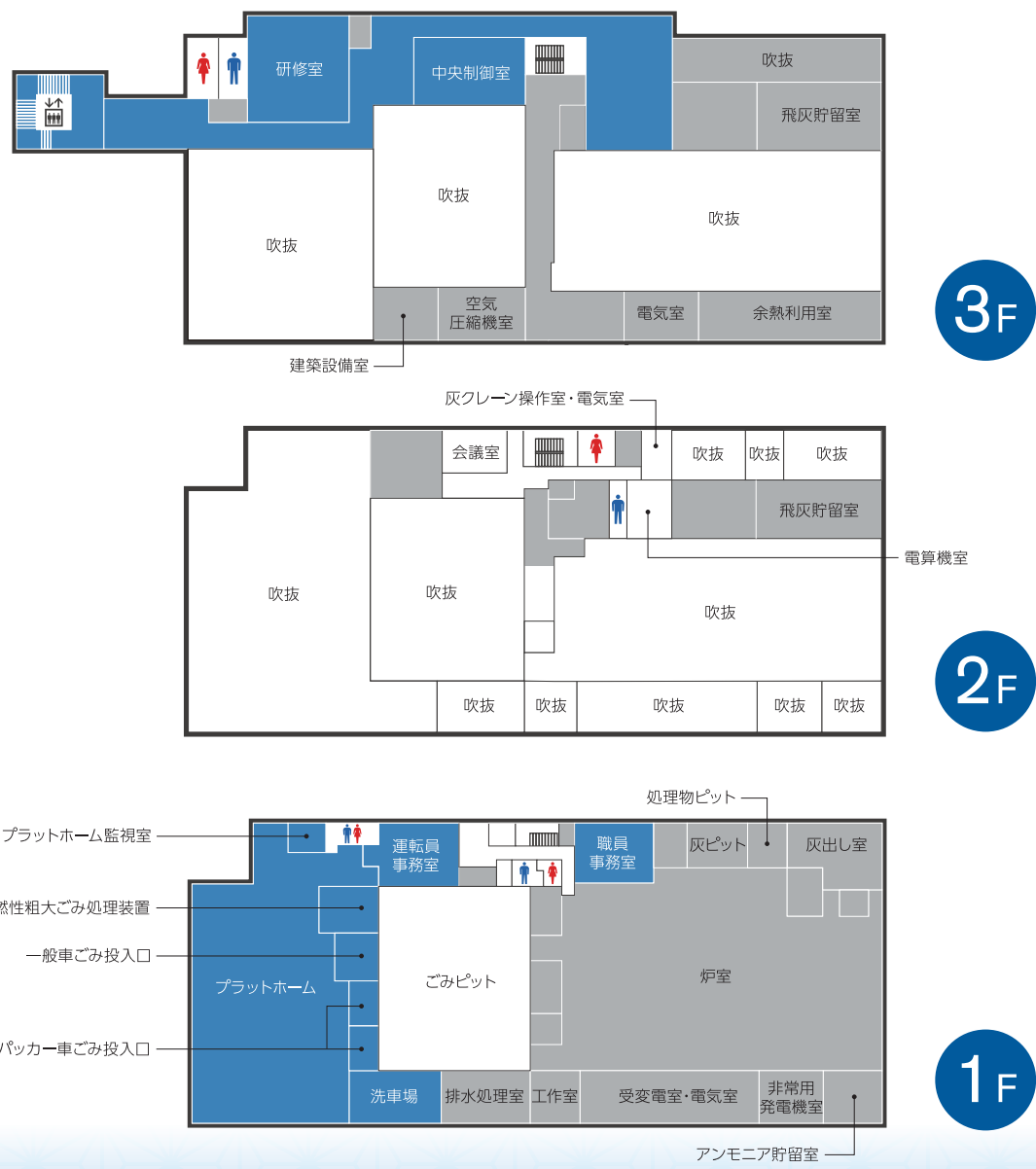
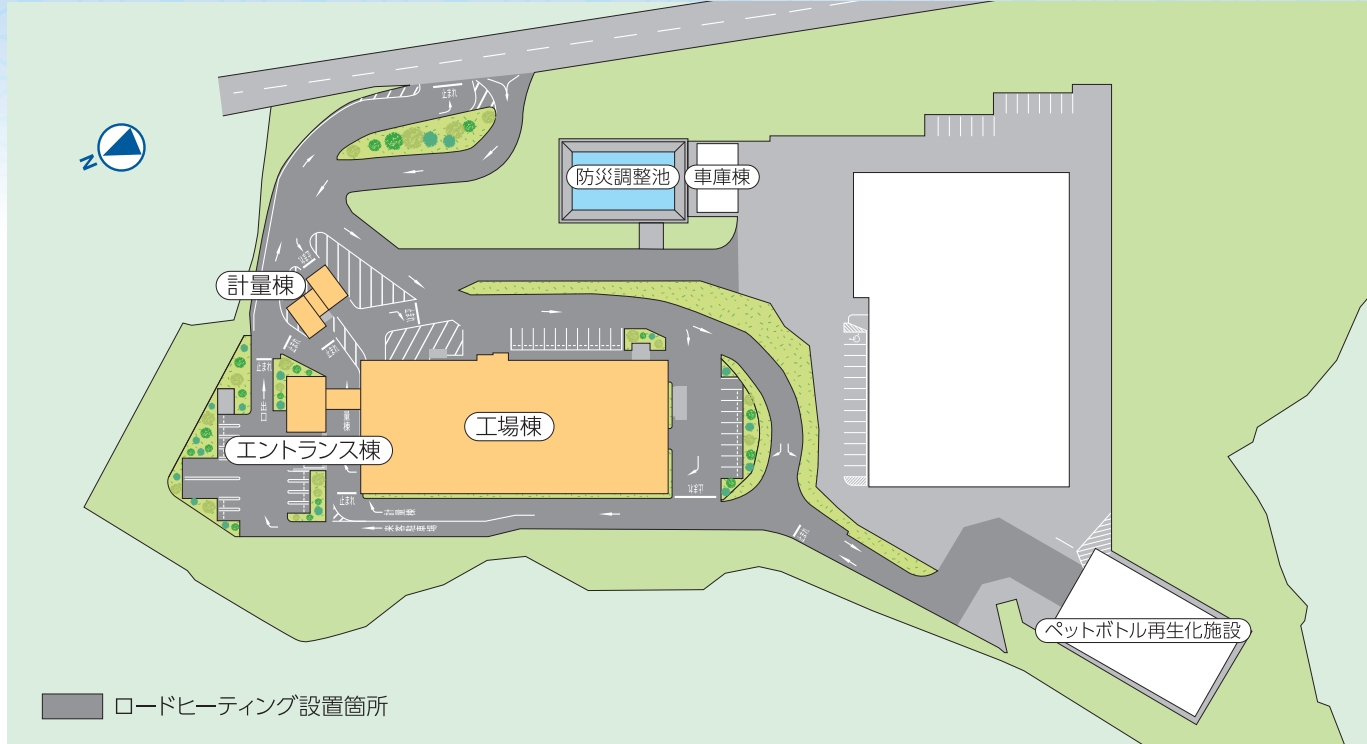
施設概要

施設名称	ななかりサイクルセンター
所在地	石川県七尾市吉田町テ部33番地
処理区域	七尾市・中能登町
敷地面積	36,931.24㎡
延床面積	4,430.74㎡
事業方式	DBO(公設民営)方式
処理対象物	一般廃棄物
処理能力	70t/日(35t/日×2炉、24時間)
処理方式	全連続燃焼式焼却炉(ストーカ式)
余熱利用	屋内/給湯・空調 屋外/ロードヒーティング(6,386㎡)
工期	令和2年6月24日～令和5年3月31日

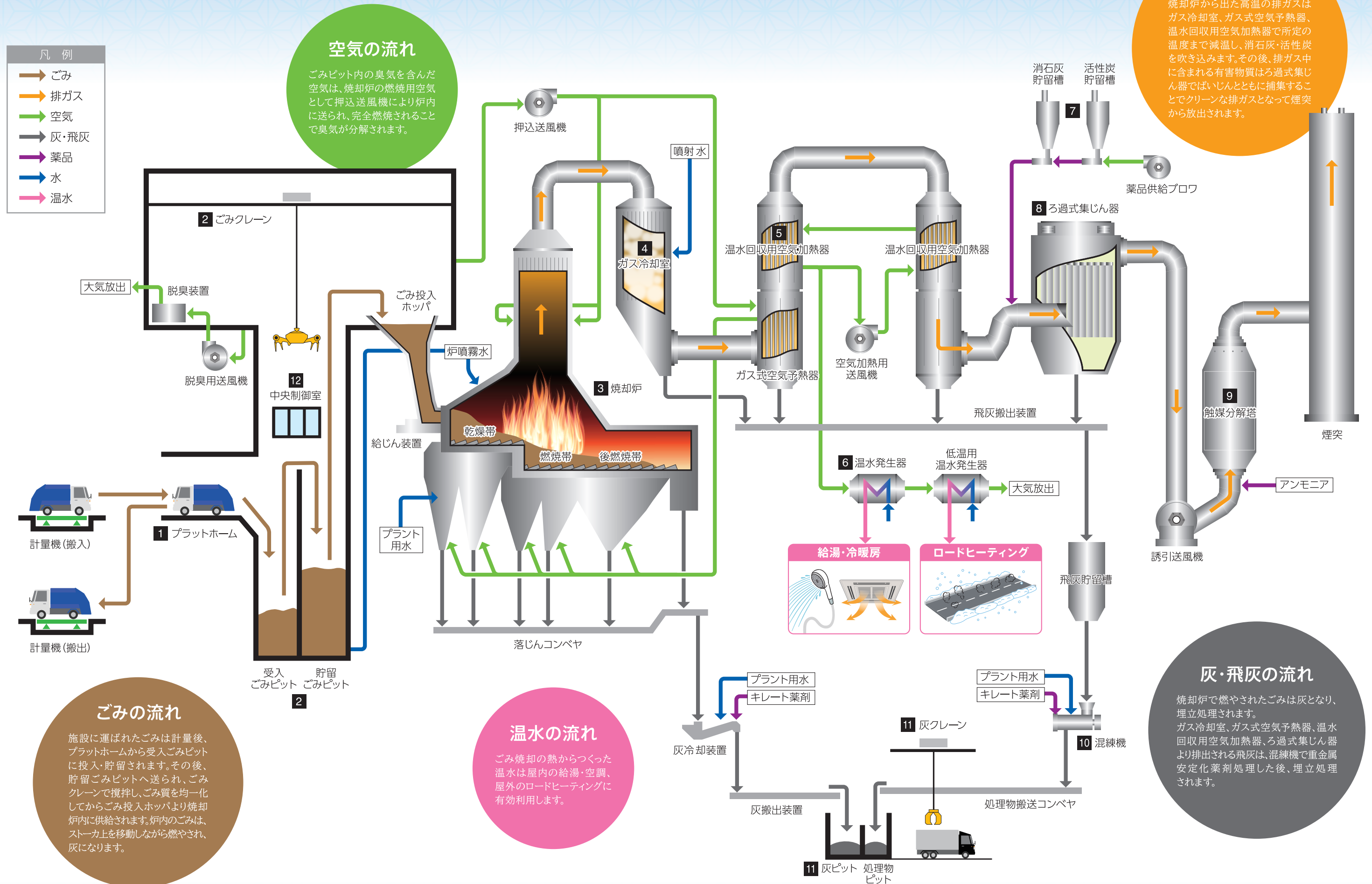
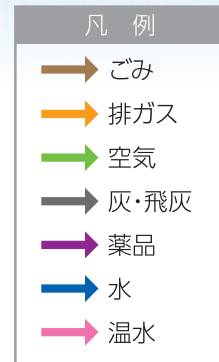
排ガス基準値

項目(単位)	法令基準値	自主基準値
ばいじん(g/m ³ N)	0.08以下	0.01以下
硫酸化物(ppm)	K値17.5以下	10以下
塩化水素(ppm)	430以下	18.5以下
窒素酸化物(ppm)	250以下	50以下
ダイオキシン類(ng-TEQ/m ³ N)	1.0以下	0.01以下
水銀(μg/m ³ N)	30以下	30以下

施設配置図



ごみ処理の流れ



空気の流れ

ごみピット内の臭気を含んだ空気は、焼却炉の燃焼用空気として押込送風機により炉内に送られ、完全燃焼されることで臭気が分解されます。

排ガスの流れ

焼却炉から出た高温の排ガスは、ガス冷却室、ガス式空気予熱器、温水回収用空気加熱器で所定の温度まで減温し、消石灰・活性炭を吹き込みます。その後、排ガス中に含まれる有害物質はろ過式集じん器でばいじんとともに捕集することでクリーンな排ガスとなって煙突から放出されます。

ごみの流れ

施設に運ばれたごみは計量後、プラットホームから受入ごみピットに投入・貯留されます。その後、貯留ごみピットへ送られ、ごみクレーンで攪拌し、ごみ質を均一化してからごみ投入ホッパより焼却炉内に供給されます。炉内のごみは、ストーカ上を移動しながら燃やされ、灰になります。

温水の流れ

ごみ焼却の熱からつくった温水は屋内の給湯・空調、屋外のロードヒーティングに有効利用します。

灰・飛灰の流れ

焼却炉で燃やされたごみは灰となり、埋立処理されます。ガス冷却室、ガス式空気予熱器、温水回収用空気加熱器、ろ過式集じん器より排出される飛灰は、混練機で重金属安定化薬剤処理した後、埋立処理されます。

主要設備



1 プラットホーム

ごみ収集車は計量機で重さを量ってからプラットフォームに入り、ごみピットにごみを投入します。プラットフォームの出入口には、エアカーテンが設けられ、臭気が漏れるのを防いでいます。



2 ごみピット・ごみクレーン

受入ごみピットに投入されたごみは、ごみクレーンにより貯留ごみピットへ送られ、十分攪拌された後、焼却炉へ送られます。



3 焼却炉

様々なごみ質に対応してそれぞれのごみ送り速度と燃焼用空気の吹き込み量を調節することで、850℃以上の高温で焼却を行い、ダイオキシン類の発生を抑制します。



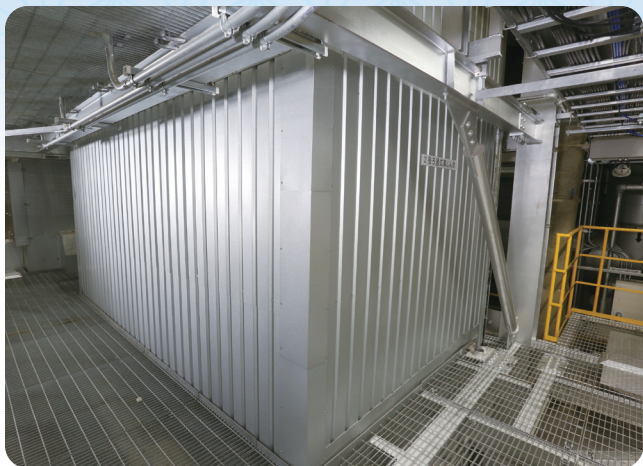
4 ガス冷却室

高温の排ガスは、ガス冷却室で急速に冷却されます。



7 有害ガス除去装置

消石灰と活性炭の働きで有害な物質を取り除きます。



8 ろ過式集じん器

ろ過式集じん器内部に設置されたろ布(フィルタ)が排ガスの中に含まれる有害物質を取り除き、クリーンな状態にします。



9 触媒分解塔

排ガス中に微量に残っている窒素酸化物やダイオキシン類を触媒の働きにより分解します。



10 混練機

飛灰に薬剤を加えて混練することにより、化学的に安定した状態にし重金属類の溶出を防止します。



5 温水回収用空気加熱器

排ガスから熱を回収し、高温空気をつくり、温水発生器へ温風を送ります。



6 温水発生器

焼却処理により発生した熱を回収し、温水をつくり、屋内やロードヒーティングに有効利用します。



11 灰ピット・灰クレーン

灰ピットにためられた焼却灰と無害化され処理物ピットにためられた飛灰は、灰クレーンでトラックに積み込まれ、場外へ搬出されます。



12 中央制御室

プラント設備全体の運転状況を集中監視および制御をしています。各設備はコンピュータシステムにより自動運転されています。